

【安芸】 安芸市の水道施設について学ぶ水道セミナー・見学会を行

財政改革時代の水道事業が6日、安芸市矢

ノ丸1丁目のホテルタ

マイで開かれ、県内外

自治体の水道担当者ら

約60人が効率的な水道

行政の知識を深めた。

水道産業新聞社の主

催。同市は昨年度、上

水道と簡易水道の13施

設を管理する水道管理

システムを更新。各水

道施設の水位の変動

や、水質などをインタ

ーネットで監視する遠隔管理システムを導入した。

これについて安芸市

上下水道課の梶原和人

係長が「水道施設の状

態が担当者各個人のパ

ソコンや携帯電話で確

認できるようになり、

中央監視装置などが不

要となった。そのため

低価格で更新できた」

などと報告。約1億1

千万円と見込んでいた

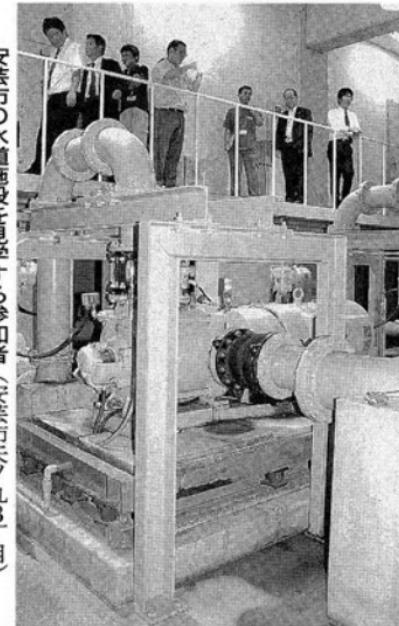
システム更新費を、約

3300万円と約3分

の1以下に抑えられた

点などを利点として挙

げた。



安芸市の水道施設を見学する参加者（安芸市矢ノ丸3丁目）

水位、水質 ネットで遠隔管理 安芸市の水道行政に学べ セミナーに担当者60人

またNTTアドコモ中國支社の山口雅明法人営業部担当部長が「ラジオリンク等にパケット網を使ったシステムの紹介」と題して基調講演。パケット通信と衛星利用測位システム（GPS）を利用した「タクシーアプリケーション」などを紹介した。この後、一行は同市の水源地などを見学し

（安岡仁司）